

2022年7月 近鉄百貨店 売上速報

店舗別売上高対前年増減率(%)

	7月	
	売上高 ※1	(参考) 取扱高 ベース売上高 ※2
<b>あべのハルカス近鉄本店</b> (あべのハルカス近鉄本店 Hoop等を含む)	10.4 (11.5)	10.4
上本町店	△4.9	△5.0
東大阪店	0.4	0.5
奈良店	△2.4	△2.2
橿原店	△7.2	△7.7
生駒店	△0.4	△2.2
和歌山店	△2.9	△2.6
草津店	△0.8	△0.7
四日市店	△0.2	0.0
名古屋店(近鉄パッセ)	12.7	18.0
合計	4.2	4.4

(注) 数値は速報値のため、確定値とは誤差が生じることがあります。また、消化仕入取引を総額に置き換える等調整をおこなっております。

※1 百貨店部分の売上高と専門店部分の賃貸収入を合計した売上高。

※2 百貨店部分の売上高と専門店部分の取扱高を合計した売上高。

【あべのハルカス近鉄本店の概況】

7月は、入店客数を伸ばすために実施した様々なイベントが奏功し、入店客数は対前年4.8%増となりました。特に近鉄ならではの旬の食材や日本全国の美味を集結した「近鉄食の大祭典」や、夏休みのお子様向けイベントなどが効果を発揮しました。売上高は、外商売上が催事販売強化などにより、前月に引き続き2019年度実績を上回るなど好調に推移した結果、あべのハルカス近鉄本店計では対前年10.4%増となりました。

商品別では、ラグジュアリーブランドが大きく売上を伸ばしたほか、各地で様々なイベントが再開されたことで外出意欲の高まりが見られ、浴衣や、日傘、婦人帽子などがよく動きました。